

令和3年度使用中学校用教科用図書（「技術・家庭科」技術分野）の採択結果等について

広島大学附属三原中学校

種目	発行者	採択理由
技術・家庭科 (技術分野)	東京書籍	<p>○基礎・基本の定着に関わって 学習内容を振り返り，知識や技能の定着度を確認する問題がある。身につけた知識・技能を活用して考えを深める活動や，生活に生かす方法を考える活動もある。</p> <p>○主体的に学習に取り組む工夫に関わって 技術科の学習方法である「問題の発見，課題の設定→設計・計画→製作→評価，改善・修正→新たな問題の発見」を意識しながら学習できるように，キャラクターの発言を効果的に使用している。さらに，多様な製作例や実習例を見て参考にすることができる。</p> <p>○内容の構成・配列に関わって 教科書全体の構成は，ガイダンスに示す「技術の見方・考え方」「調査・発表の手法」「技術の最適化」「PDCA サイクル」に沿っている。学習内容の概要が明確に示されており3年間の学習の見通しを持てる。導入部分の問い，明瞭な図，詳細な解説，多様な実習例，QRコードを使ったデジタルコンテンツが充実している。現代的な技術の特集では，災害復興の技術，東京五輪で使われている技術，人工知能，スマートシティ，Society5.0などが紹介されている。巻末では，地球全体の目標であるSDGsについて考えられる。付録のプログラミング手帳も充実している。</p> <p>○内容の表現・表記に関わって 教科書全体でマークやキーワードの表示方法が統一されている。他教科とのリンク，男女平等，読みやすい書体，穏やかな色調などの配慮がある。技術者や職人へのインタビューが随所にあり，生徒の職業観を養える。</p> <p>○言語活動の充実に関わって キャラクターを使った，言語活動を促すような「問い」が随所に見られる。技術の最適化を話合うコーナーや，未来の技術について考えるコーナーが充実している。</p> <p>○本校の研究に関わって 本校の探求学習のように，教科横断的な視点，自ら課題を発見し解決する過程，論理的に考える力を重視している。</p>